

日中地震による土砂災害対策に関するシンポジウム（第四回）

（社）砂防学会

2008年5月12日に中国でM8の汶川大地震が発生し、約8万8千人の死者・行方不明者が発生しました。その約1ヶ月後の2008年6月14日には岩手・宮城内陸地震が発生し、死者・行方不明者は23名でしたが、その約8割は土砂災害によるものでした。さらに2011年3月11日にはM9の東北地方太平洋沖地震が発生し津波により大きな被害が発生すると同時に、東日本の各地で斜面崩壊や地すべり等による土砂災害が発生し多数の死者と家屋に対する被害が発生しました。地震により斜面崩壊、地すべりおよび土石流が発生した山地では不安定な土砂が斜面や河床に多量に堆積しており、今後の豪雨により下流に流出して、土石流や土砂流、河床上昇による洪水等の災害を長期間にわたって引き起こす可能性があります。2010年8月10～14日の豪雨により、汶川大地震による土砂災害が発生した清平、映秀、龍池等では大規模な土石流が発生して甚大な人的、物的被害が発生しました。

地震による土砂災害を効果的に防止・軽減するためには地震による土砂移動現象の発生機構について明らかにするとともに、これを基に震前対策（耐震設計、警戒避難体制の整備、施設配置計画）、震後の避難・応急対策（二次災害対策；天然ダムの決壊対策、豪雨による斜面崩壊・地すべり・土石流への対策）、恒久対策（下流への土砂の流出対策等）についてさらに知識を増やし技術開発を行う必要があります。（社）砂防学会と中国科学院成都山地災害及び環境研究所では2008年10月12日に「地震砂防に関する共同研究協議書」に調印し、地震による土砂災害対策に関する共同研究を開始した。2008年12月には第一回の日中シンポジウムを成都で、2010年1月22日には第二回の日中シンポジウムを東京、砂防会館で開催し、2010年8月には第三回の日中シンポジウムを成都で開催した。また、2008年以来、毎年日本側の調査団が成都山地災害及び環境研究所を訪れて汶川大地震の被災地の現地調査を実施しています。

日本側と中国側でこれまでに実施してきた調査研究成果を基に、地震による土砂災害とその対策に関する情報および技術を交換・共有し、今後の地震による土砂災害と対策に関する日中の共同研究の方向を探ることを目的で下記のように「日中地震による土砂災害対策に関するシンポジウム（第四回）」を開催することとなりました。ご協力およびご参加を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1.主催 （社）砂防学会
- 2.共催 中国科学院成都山地災害及び環境研究所
- 3.後援（予定） （社）日本地すべり学会、（財）砂防フロンティア整備推進機構

4.協賛（予定） （社）全国治水砂防協会、（財）砂防・地すべり技術センター

5.日時 平成24年1月6日（金）13:30～17:00

6.会場 砂防会館 別館シェーンバッハ・サボー3階「六甲」会議室
東京都千代田区平河町 2-7-4

7.参加費 無料

8.使用言語 日本語および英語

9.プログラム

開会挨拶 13:30～13:40 砂防学会長 鈴木 雅一

発表 13:40～14:10 欧 国強（中国科学院成都山地災害及び環境研究所教授）
「汶川大地震後に発生した土砂災害の特徴（仮題）」

14:10～14:40 川邊 洋（新潟大学 農学部教授）
「四川大地震により発生した山地災害の特徴（仮題）」

14:40～15:10 何 思明（中国科学院成都山地災害及び環境研究所教授）
「汶川大地震後に発生した豪雨による土石流災害（仮題）」

15:10～15:40 潘 华利（中国科学院成都山地災害及び環境研究所助理研究員）
「汶川大地震被害地域での土石流観測（仮題）」

15:40～15:55 休憩（15分）

パネルディスカッション

15:55～16:55

「地震後の豪雨による土砂災害の発生と対策について」

コーディネータ：石川 芳治

パネリスト：欧 国強 氏、川邊 洋 氏、
何 思明 氏、潘 华利 氏

閉会挨拶 16:55～17:00 砂防学会副会長 岡本 正男

意見交換会 17:30～19:00（参加費 4,500 円は当日受付にてお支払下さい。）

10.参加 定員 50 名

11.意見交換会申込期限：意見交換会のみ平成23年12月22日（木）まで。

シンポジウムへの参加の事前申込みは不要です。

12.意見交換会の参加申し込み Eメールにて、氏名、所属、部署、役職、連絡先のメールアドレスあるいはFAX番号をお知らせ下さい。

意見交換会参加申込先・問い合わせ先 総務部会長

東京農工大学 大学院農学研究院 石川 芳治

e-mail : y_ishi@cc.tuat.ac.jp

TEL&FAX:042-367-5826

このシンポジウムは技術士CPDの対象となります。